

子どもの最善の利益を保障するために

大阪府の保育・学童保育・子育て予算の大幅増額を求める請願書

大阪府議会議長 殿

紹介議員 別紙添付

請願代表者住所 大阪市中央区谷町 7-2-2-202

氏名

以下

名

請 願 趣 旨

国は1989年の「1.57ショック」以降、少子化対策にとりこんでおり、現在も「次元の異なる少子化対策」を掲げ、児童手当の所得制限撤廃など様々な少子化対策をすすめています。

しかし、2023年の合計特殊出生率は統計をとり始めて以降、最も低く1.20、大阪府は全国平均より低い1.19となっています。安心して子どもを生み育てるためには国、自治体の子育て予算を大幅増額することが求められます。

保育分野では長引く保育士不足の中、国は有資格者が少なくても保育を行うことができる施策を推し進めてきました。しかし、子どもの育ちと命を守り、保護者への丁寧な対応だけではなく「一時預かり事業」や「地域子育て支援事業」など地域の子育て支援も行っています。保育現場には知識と経験、そして高い専門性が求められており、そのためには有資格者の増員が急務の課題です。

学童保育は、働く保護者等をもつ小学1～6年生の子どもたちが放課後や夏休みなどに生活する場として入所要望が高まっています。府内の入所児童は今年度7万6千人を超える一方、待機児童、大規模化、高学年が入れない状況があります。トイレの不足やプライバシー問題、静養する場所がないなど施設環境の課題も山積しています。また指導員不足は深刻で、毎日同じ指導員が安定的に専門性をもって子どもの支援にあたる体制整備は急務となっています。子どもたちが安心・安全ですこやかに育ちあう学童保育の充実、府内各地の要望です。

子どもの権利が守られ、少子化を克服するために予算を大幅に増額し、大阪府内の保育・学童保育・子育て支援施策を拡充するよう要望いたします。

保育・学童保育・子育て支援の充実を求める 秋の大運動 大阪実行委員会

【大阪保育運動連絡会・大阪学童保育連絡協議会・大阪自治労連（保育部会・指導員労組連絡会）
・全国福祉保育労働組合大阪地方本部・社会福祉経営全国会議大阪支部】

連絡先：大阪保育運動連絡会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目2-2-202

TEL06-6763-4381

取扱団体：連絡先

